

TFU UPDATE PROJECT

TFU × Benesse「留学支援プログラム」始動！ 海外を舞台に実務IQを高めることが可能になりました



グローバル化が進む今日、日本企業の活動の場はこれまでにないほど海外へと広がっています。また、ますます国際化しつつある日本社会では、国内で英語を駆使する力や異文化に対する受容性・柔軟性が求められています。東京富士大学が重視する「実務IQ」（突破力、想像力、主張力など）を鍛えるためにも、海外留学は絶好の機会であると言えるでしょう。そこで東京富士大学では、「海外で語学力を伸ばしたい・異文化交流の体験をしたい」という学生向けに、「TFU x Benesse “My Style 留学” プログラム」を立ち上げました。短期間での英語集中講座、現地での異文化体験活動はもちろん、ビザ取得や空港への送迎、ホームステイ先の手配など、煩雑な手続きはベネッセが全てカバーします。このプログラムでは、海外留学は本学の卒業単位としてそのまま認定されますし、大学からの渡航一部支援金も準備していますので、単位不足や渡航費負担を気にせず海外に挑戦できます。

富士ゼロックスと連携し、「志プロジェクト」が始動 地元活性化に東京富士大学が寄与します！



景気拡大が続く日本経済。人手不足が叫ばれる今、新宿の地元中小企業にとっても優秀な人材の確保は死活問題となっています。大手一辺倒の就活を展開する学生に、優良な中小企業の情報を効果的に発信することは喫緊の課題と言えるでしょう。

そこで東京富士大学はこれまで継続してきた GMT(地元) 企業訪問プログラムの一環として、富士ゼロックスが立ち上げた「高い志を持つ地域の中小企業をより深く知ってもらう」ことを目的とした「志プロジェクト」に参画することを決定。地元金融機関（東京三協信用金庫）、東京中小企業家同友会の協力を得ながら学生目線の「会社案内」を作成し、就活生に地元企業の魅力に気付いてもらうことを目指します。

地元企業が抱える課題解決に協力することで、学生の実務IQ（突破力、思考力、創造力など）が鍛えられることでしょう。「志プロジェクト」の今後にご期待下さい！

「新宿 DASH」好評オンエア中

日本テレビ系列の人気番組「ザ！鉄腕！DASH！！」内の新コーナー「新宿 DASH」。「人間と生物が共存できる近未来都市をつくる」というコンセプトの新企画は本学の本館屋上をベース基地としています。大都会新宿を舞台に展開される共生の取り組みにご注目下さい（日本テレビ系列、日曜 19:00～）。



表紙モデル | 岡田美里（イベントプロデュース学科4年、狭山清陵高校出身）

TFU NOW

2017年7月号

Vol.6 発行：平成29年7月 東京富士大学入試広報課
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-1 TEL：03-3368-0351 FAX：03-53386-2451 E-mail：kouhou@fuj.ac.jp

東京富士大学

TOKYO FUJI UNIV. NOW

TFU NOW

TOKYO FUJI UNIVERSITY

2017 7 月号
TOKYO FUJI UNIV. NOW #6

女子卓球部 春は悔しさ残る3位
光る3年生の急成長 滑川選手が敢闘賞受賞

商店街活性化プロジェクト始動！
経営学の知識を課題解決に活かす

【お悩み相談】AO入試ってどんな入試？

TOKYO FUJI UNIVERSITY



■「伝統の強豪校」として関東1部に君臨

東京富士大学の女子卓球部は、富士短期大学時代の1970年に創部された伝統ある強化クラブです。二上貞夫前理事長、水村治男監督の薫陶を受け、育まれた卓球部は1975年から関東学生卓球連盟の頂点である一部リーグに昇格しました。アテネ五輪女子卓球日本代表を率いた西村卓二監督が指揮をとって45年。関東学生卓球界をリードし続けています。

■垂れ込める暗雲を払拭したチームの「結束力」

昨年度の秋季リーグで16年ぶり10度目の優勝を飾った東京富士大学。秋春連覇が期待された春季リーグでしたが、課題は「チームの大黒柱が抜けた穴をどう埋めるか」でした。後藤・池上の両エースが卒業した今期、4年生たちの肩にかかった重圧は計り知れません。

実際に、1部リーグに昇格したばかりの國學院大学との初戦はまさかの敗戦。大きな不安がチームを覆い、ズルズルと連敗をしてもおかしくない状況でした。しかし、名将・西村監督の冴え渡るオーダー（出場選手の選抜、出場順位の決定）と、抜擢された1年生の躍動。そして何よりも期待に応える3年生たちの活躍で、チームは勢いを取り戻します。

チーム一丸の総力戦で5時間を超える熱戦を勝ち抜き、最終的には3位で春のリーグ戦を終えることができました。目覚ましい活躍を果たした3年生の滑川明佳選手（経営心理学科3年）がその活躍を讃えられ「敢闘賞」を受賞したのも、今後のチームにとって明るい材料です。

■選手たちを支えるOGの「東京富士大愛・富士短愛」

試合を取材し、最も印象深く感じたのが、選手たちを支えるOGたちのバックアップです。前身の富士短期大学の時代から卓球部の伝統を紡いできたOGの皆様が声を枯らして応援し、現在も実業団リーグで戦っているOGたちは早朝から選手たちの朝練に付き合っています。誰に強制されることもなく自然と力を結集するOGたちの支えに感謝し、今後の奮起を約束する選手たちの姿がそこにはありました。



■課題解決型の授業で「生きた経営学」を学ぶ

東京富士大学は経営学を学ぶ大学ですが、ただ受動的に経営の知識を身につける大学ではありません。本学の人材育成の目標の一つが「問題解決ができる人材の育成」です。就職先の企業や、その企業が顧客としている人々などステイクホルダー（利害関係者）が抱える課題を解決する能力を、大学の4年間で身につけることが一つの目標です。

■「宮田商店街活性化」に取り組む松田ゼミ

東京富士大学は地元の宮田商店会、さかえ通り商店会、新宿区と連携し商店街活性化に向けた協議を2017年4月にスタートさせました。これを受けて、本学の学生たちが早速活性化案の検討をスタートさせています。

例えば、経営学科の松田ゼミは宮田商店街の活性化案を検討。4月～5月のゼミでは、ゼミ生たちが各々宮田商店街を歩き回り、地元商店街がどのような問題点を抱えているかを探りました。それと並行して、他地域の商店街で活性化に成功した事例を調査。宮田商店街に適用可能な活性化策が無いか、議論を繰り返しています。担当教員によれば「まだアイデアベース」としながらも、ゼミ生たちから以下のような活性化案が提示されていることを紹介してくれました。

◎「**ジモフェス**」（地元の児童・生徒・学生による大音楽祭）

◎「**Red Pepper Road**」（内藤唐辛子ロード）化作戦

◎ジモキャラ「**からえもん**」による地域ブランディング

◎東京下町レトロ「**宮田『平安』商店街**」（平安時代食の提供）

◎「**マルシェ・ミヤタ**」の開催（朝市・フリーマーケット）

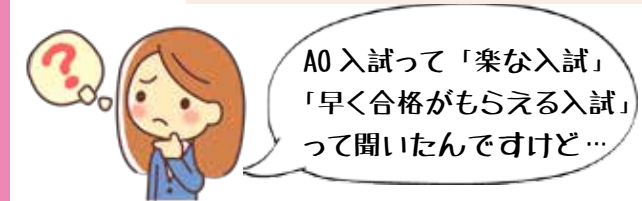
今後は、現地の交通量調査などを実施し、慎重に経済性や実行可能性を検討した上で、具体的な企画書の作成にとりかかるといことです。

■「過疎地活性化」にも挑戦中

この他にも、本学のサークル「企業ビジネス研究会」が鳥取県や和歌山県を舞台に、過疎地の活性化に取り組んでいます。課題解決で成長する学生たちの姿はTFU NOWを通じてご報告してまいります。ご期待下さい！



期末試験も終わりいよいよ進路選択が本格化するこの時期。進学する大学、学部の選択と同じくらい迷うのが、入試方法の選択ではないでしょうか。最も早期に出願受付がスタートするのが「AO入試」。そこで今回は、AO入試について詳しくご紹介したいと思います！



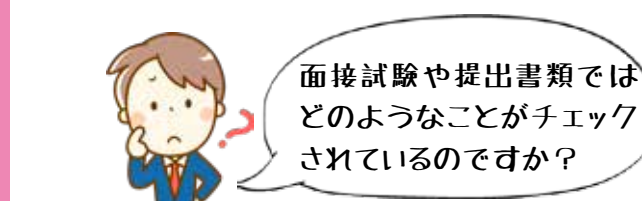
AOとは「Admission Office」の頭文字をとったもの。Admissionとは「入場」や「入学」を意味しますので、Admission Officeとは「入学課」といったところでしょうか。

一般入試と比べた場合、AO入試は「学力試験が課されない」のが特徴です。一方、推薦入試と比べた場合、AO入試は「高等学校の推薦を必要としない」のが特徴です。

もちろん、学力試験がないからといって「楽な入試」というわけではありません。また、推薦書が不要だからといって「誰でも受け入れる入試」というわけではありません。

大学にはそれぞれ「募集する人材」の方針（ポリシー）を定めています。その方針に沿った人物であるかどうかは、AO入試であっても評価されています。ただ、評価の手法が「推薦書」や「学力試験」ではないだけです。

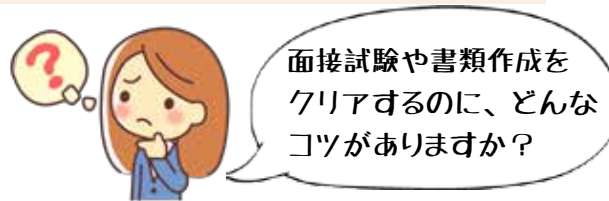
ほとんどの大学のAO入試では「**面接試験**」と「**提出書類**」によって、皆さんの人物、能力を評価しています。



一般入試の学力試験が大学によって異なるように、AO入試の提出書類も大学によってまちまちですし、面接で投げかけられる質問も多種多様です。しかし、面接や書類によって大学がチェックしていることは一つしかありません。それは皆さんの「**学ぶ意欲**」です。

学びたいという意欲が強ければ強いほど、入学後に大きく成長できます。学ぶ意欲がある人は、授業を欠席したり、学修に身が入らなかったり、単位を落としたり、退学する可能性は低いと言えます。

大学は「しっかり学び、しっかり成長し、しっかり卒業できる」人材を求めており、そのための意欲があるかどうかを提出書類や面接を通じてチェックしているのです。

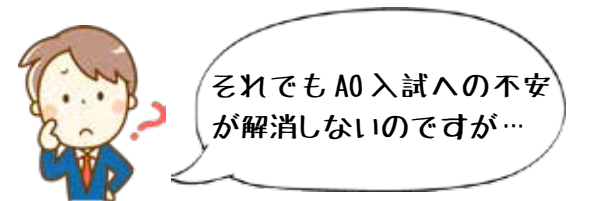


例えば、面接試験では「高校時代に力を入れて取り組んだことは？」と質問されます。ついつい「高校時代は文化祭の運営に力を入れました」などと答えがちですが、それだけでは不十分です。

「どのように頑張ったのか」「どのような工夫をしたのか」などもあわせて答えましょう。「**どのように**」の部分を掘り下げて説明することで、「意欲を持って物事に取り組める受験生」と評価されます。

また、提出書類として志望動機書を求められているとしましょう。ついつい「なぜその大学に入りたいのか」のみを記載してしまいそうですが、それだけでは不十分です。

「**なぜ**その学問を学びたいのか」「志望する**きっかけ**は何だった」「卒業後に学んだことを**どう活かす**つもりなのか」など掘り下げて書かれていると、「意欲を持って物事に取り組める受験生」と評価されます。



東京富士大学ではAO入学試験に不安を持つ受験生・保護者の皆さまのために「AO入試対策講座」を下記の日程で開催しています（要予約）。「自分にあったAO入試が見つからない」「書類作成や面接試験のコツをもっと詳しく知りたい」という皆さまは是非ご利用下さい。対策講座はマンツーマンですので、皆さまの疑問に沿った説明を聞くことができます。

AO入試対策講座

要予約

7/5・12・19 15:00～18:00

（8月以降の日程はHPでご確認下さい）

ご予約先

03-3368-0351 OR

